

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 6番 兵庫県立三田西陵高等学校 1年

多田羅 白瑛 (たたら はくえい)

【担 当 課】 総合政策部 広報広聴課

【答弁予定者】 市長

【質問事項】 若年層への SNS による魅力発信について

【質問内容】

6番 兵庫県立三田西陵高等学校 1年の多田羅 白瑛です。

私からは若年層への SNS による魅力発信について質問・提案をさせていただきます。私は三田市が若者の流出が少なく、若者に興味・関心のある街になれば良いと考えています。

現在の三田市は公式ホームページに加え LINE、Instagram、Facebook、YouTube といった SNS で広報を行っています。実際、私も公式 LINE では「市政情報」や「おでかけイベント情報」などの情報を取り入れたり、Instagram や Facebook では三田の風景を見たりして魅力を感じています。

今回、質問・提案をさせていただくにあたって、去年の議員さんが提案した内容をみさせていただきました。SNS 広報課の設置が提案されていて、とてもいい案だと思いましたが、調べたところ現在も未設置とのことでした。

そこで、SNS のショート動画や魅力的なバナーを作るには専門の知識を持つる方に協力を求めることはできないのかなと考えました。例えば三田市に住んでいる、インフルエンサーの方などに、案件の提案をすることができれば三田のみでなく、色んな地域の方に三田の魅力を知ってもらえることができるのではないのでしょうか。グルメや三田のイベント、景色の綺麗な場所など魅力的な動画を月に数回定期的に発信していければ、SNS 登録者数も増えるとおもいます。

今回は若い世代の視点で SNS などを使った三田市の魅力の発信の方法について提案させていただきました。今後の三田市の SNS での広報について、また

市役所ではインフルエンサーの方などに協力を求めることはできるのでしょうか、市の考えをお聞かせください。

【答 弁 内 容】

私からは、多田羅議員からご提案のありました「若年層への SNS による魅力発信について」お答えいたします。

現在、三田市では、LINE、Instagram、Facebook、YouTube といった SNS を活用し、市政情報をはじめ市の魅力発信など、さまざまな情報を随時発信しております。SNS の登録者数やフォロワー数は、1 月 20 日現在で LINE が最も多く 14,235 人、Instagram は 3,800 人、Facebook は 2,544 人です。特に LINE の登録者数は増加しており、一定の効果は得られていると感じていますが、10 代、20 代の若者の登録者の割合は低いため、若い人への情報発信への取り組みが必要であると考えております。

議員ご提案の「インフルエンサーとの協力により、若年層への SNS による三田の魅力を発信していく」ことについては、非常に効果的な手法であると思います。

今年度、関西学院大学の 2 人の学生が運営する総フォロワー数 5 万人超の「ヒョウゴジテン」に、三田の「食」「観光」「体験」の 3 つのジャンルごとに PR 動画を作成していただきました。9 月末から定期的に配信されており、1 本目の動画には私も出演いたしました。これまでに 10 回配信されており、視聴回数が多いものでは 5.5 万回に達しています。この取り組みは、若者等に三田の魅力を知ってもらう大切なツールになると期待をしているところです。

これからも、SNS などを使った三田市の魅力の発信の方法について考えていきたいと考えていきます。高校生議員の皆様におかれましても、自身がインフルエンサーとなり、三田の魅力を同世代の若者へお伝えいただきたいと思っております。ぜひともご協力をお願いいたします。